

社友会だより

第 15 号

発行 センツウ社友会
 住所 東京都港区赤坂 2-4-5
 〒107-0052 (国際赤坂ビル 3F)
 ドコモ・センツウ株式会社内
 編集者 大場省平

＊ 第 20 回社友会定期総会開催＊

平成 19 年 7 月 14 日 (土) 12 時から東京銀座のラフィナートに於いて、第 20 回社友会定期総会が開催されました。

本総会には、関西地域から村上理事、九州地域から金重理事がそれぞれ出席されました。会社からは、菅原常務他幹部のご出席を頂き、総勢 66 名となりました。

12 時 00 分、司会者の鱒淵理事から、今期お亡くなりになられた会員 3 名の名前が読み上げられ、出席者全員による黙祷をささげ、ご冥福をお祈りしました。

開会にあたり、法安会長から次のとおり挨拶がありました。

〈法安会長の挨拶〉

鬱陶しい梅雨が続いておりますなか、ご出席を賜り有難うございます。



昨年にも増して、お元気なお姿を拝見し、とても嬉しく存じます。また、会社からは、幹部の皆さんのご臨席を賜りまし

たこと、厚くお礼申し上げます。

さて、社友会の運営も皆様方のご指導・ご協力により、若干の問題を孕みながらも軌道線上をそれなりに進んでおります。主要施策であります関西・九州両地域との連携強化、会費収納率の改善、会員増強等においても、更なる進捗がはかられました。ご協力に改めてお礼申し上げます。

活動活性化の基盤は、なんと言っても財務でございますが、乏しい懐具合の現下では、あれもやりたい、これもやりたいと思うだけであり、焦燥感に駆られております。お手許の一見、立派そうな議案書も事業計画に到っては、数字すらお示しできないお粗末なものであります。後ほど、ご議論下さい。又、よい知恵をお貸し下さい。

本日のような会が、関西や九州でも開催できる日の一日も早やからんことを念願してやみません。

機会あるごとに申し上げておりますが、仲良し倶楽部と申しますか、「全国区」のもっともっと楽しい「社友会」にしたいものです。皆様のお力添えをお願い致します。

本日は第 20 回の節目であり、本来なら、最も盛大な行事とすべきでありましたが、先に申し上げました状況下をご斟酌賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、挨拶と致します。

引き続き、会社を代表して菅原常務取締役からご挨拶を頂戴いたしました。

〈菅原常務のご挨拶〉

6 月 15 日、常務取締役・法人営業本部長を拝命い



たしました菅原でございます。

第 20 回定期総会にお招き頂き有難うございます。

本日は社長が出張のため、僭越で

はございますが私が勤めさせていただきます。

ちょっとお時間をいただきまして、我が社の最近の経営状況についてお話させていただきます。

当社の 18 年度の決算は、売上高 215 億円・経常利益 10 億円となり、対前年度比で増収増益となりました。利益が 10 億円を超えたのは、平成 5 年以来であり、社員の努力は元より先輩の皆様方のご指導・ご鞭撻の賜物であると心からお礼申し上げます。

センツウはこれまで、幾多の変遷を経てまいりましたが、その都度、先輩のご苦労とご決断があった訳でございます。今日のセンツウは、そのような基盤の元にあるものと認識しております。

現在会社は、守りから攻めに企業体質の転換を目指し、チェンジ&チャレンジというキーワードを元に、リソースの適正配分による総合力発揮を行うことをテーマとして、4 つの柱を掲げて更なる業務の発展のため、全社を挙げて取り組んでいるところです。更に、この 4 月に組織の見直しを行い、組織の活性化を図ることいたしました。

その主なものは、

○ 船舶の IT 化、海洋ブロードバンド化に対応できるような技術の向上を図ることを目的として、本社に技術サポート本部を設置いたしました。

○ 法人営業本部に、首都圏支店を取り込みまして、ドコモの所管部門と連携した衛星電話の販売活動を積極的かつ戦略的に展開している等であります。

このような中で、平成 19 年度は、売上額 206 億円営業利益 9 億円の事業計画を掲げ、達成に向けて取

り組んでいるところでございます。

社友会の皆様方の今後ともなお一層のご指導・ご鞭撻をお願いいたしまして、挨拶に代えさせていただきます。

早速、沖本議長から議事に入る旨を宣言し、議案の審議に入った。

(議案)

- (ア) 平成 18 年度事業報告承認の件
- (イ) 平成 18 年度会計報告承認の件
- (ウ) 平成 19 年度事業計画 (案) 承認の件
- (エ) 役員選任の件
- (オ) その他

上記の議案について、長谷川事務局長が説明及び報告、清水幹事が監査報告を行い、満場一致をもって承認されました。

続いて、関西地域の村上理事から、地域の活動について、16 年頃から退職者が集まり懇親会を開催していたが、今年 1 月には、社友会メンバ及びメンバ以外の方も含めて 23 名が集まり、懇親会を開催した。

今後、旅行等色々企画をしたいので、ご支援願いたい旨の報告があった。

続いて、九州地域の金重理事から、年に 1～2 回旅行を兼ねた懇親会を実施している。

但し、現在は九州地区在住のみとなっているので、今後は、中国・四国まで範囲を広げて行きたい。

また、会員の増強については、転籍者の勧誘がネックとなっている旨報告された。

懇親会の開催

総会后、記念写真の撮影を行い、懇親会を開催しました。

西井さんの乾杯により開宴いたしました。



総会出席初めての関西・九州地域代表村上・金重両理事、

また、遠方からご出席くださった新会員の方が加わり、盛り上がった懇親会となりました。

中締めは、益々お元気な山根さんの万歳三唱にて目出たくお開きとなりました。



櫻井さんと檜尾さん



菅原常務と大阪から参加の上中さん



村上さんと崎山さん



万歳三唱の山根さん

< 総会ご出席の皆様 >



* 新役員と主な担務 *

総会後の役員会にて役員を担当業務を次のとおり決定した。

- 会長 法安 忠美
副会長 沖本 良平・(中央以東地域担当) 事務局支援、レク関係
理事 高島 市郎・(関西地域担当)
木本 浩二・(九州地域担当)
理事 鱒淵 文男・地域連絡 会員
佐々木 正明・庶務(事務局支援) 別途依頼事項
大場 省平・会報編集長 事務局支援(涉外)
長谷川 英夫・事務局長 会計 会費
大和田 輝彦・事業計画 会員
村上 功・関西地域担当補佐
金重 寛・九州地域担当補佐
鈴木 弘・事務局長補佐 会報編集 会員
幹事 清水 高春・会計監査 別途依頼事項
(平成19年7月14日現在)

* 役員会の開催 *

- 日時 平成19年4月10日(火) 18:00
- 場所 本社会議室
- 議題 ・18年度社友会活動の現況報告
・第20回定時総会について

* 役員会の開催 *

- 日時 平成19年6月14日(木) 18:00
- 場所 本社会議室
- 議題 ・第20回定時総会の具体的な資料及び進行要領等

会長から、今年は役員改選期であり、人選について早めに推薦を求めてもらいたい旨の発言があり、議事に入った。

(報告事項)

- ・長谷川事務局長から
会員数は190名に達した。引き続き入会勧奨を行う。
- ・鱒淵地域担当理事から
3月に関西・九州地域担当補佐と連絡を取った。
・関西地域・三ノ宮での懇親会開催時、未入会に対し、入会案内をお渡し入会勧誘を行った。結果、1名から入会申し込みを得た。
・九州地域・未加入者に対し、入会案内をお渡しした。懇親会は、秋頃実施する。

(議事)

- ・収支状況(3月31日現在の報告)を元に、18年度の見通しについて審議した。
なお、法人会費について、18年度内は従来どおりとなった。
- ・総会の資料及び進行要領について審議した。

* 社友会親睦の飲み会開催 *

[中央地域]

5月19日(土)大手町にある居酒屋で、恒例の「飲み会」を開催しました。

首都圏にお住まいの方々が20名参加され、久しぶり



りにお逢いたためか、話がはずみ、開宴時間前から早く乾杯だの催促に止む無く、今井さんの乾杯の音頭で開演となり

ました。

出席者の方々から、近況報告を一人3分以内でお願いしお話をしました。

出席者の方から、門司港の記事をみて、是非行ってみたい等、昔を懐かしむ声も聞かれました。



近年、タバコを吸う人が少なくなりましたが、お酒の量は衰えず、皆さんお元気な様子で幹事として安堵いたしました。

予定の2時間もあっという間に過ぎてしまい、中締めを山根さんをお願い、手締めで無事お開きとなりました。終宴の後は、マ



ージャン組、飲み会組と分かれ、終日親睦を深めることができました。

[レポートター 清水幹事]

* 18年度春季ゴルフコンペ開催 * 立石孝男さん優勝

[中央地域]

平成19年5月7日(月)クリアビューCC(旧大利根チサンCC)(千葉県野田市)において18年度春季ゴルフコンペが開催されました。

会場の選定については、会員の方から「野田市ブリックGC」にてはどうか、との提案があったので、3月25日事務局と幹事の方等で視察プレーを行なった結果、全員の意見で「クリアビューCC」で開催することに決定しました。

また、今回から、過去の成績により算出した各自のハンディキャップを適用することとなりました。

参加された方は、4組(14名)で、上位3名の方がネットでアンダーパーになる大熱戦となりました。

なお、参加された方々と入賞された方は次のとお

りです。

参加者氏名（スタート順・敬称略）

- 1組 檜尾政司・福田嘉信・林 憲男・沖本良平
- 2組 法安忠美・鈴木 徹・阿部正一・大村唱一
- 3組 目黒 敏・堀川数好・立石孝男
- 4組 加藤恒男・黒田繁雄・山形剛士

入賞された方（敬称略）

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット
優勝	立石孝男	96	27	69
準優勝	大村唱一	91	21	70
3位	鈴木 徹	101	30	71



「入賞者の喜びの声」

○優勝された立石さん

社友会ゴルフコンペには、事務局の沖本さんから勧められて参加しています。今回は3度目の参加になりますが、恵まれたハンディキャップの査定を受け優勝させて頂きました。

優勝賞品は「千葉県産こしひかり 5kgと日頃食しない「マスクメロン2個」の農産物でした。

夫婦二人暮らしの食材としては、身に余る賞品で主催者に感謝。競技開始のハーフラウンドは成績が良く、スコア46で上がり、後半はボギーペースを確保すれば上位入賞もあるかな？と思いながら午前の部は終了。午後のハーフラウンドは食事を済ませ、食の要求を満たし、最初のホールからダボ・ダボと続き最悪、上位入賞は諦めていました。ところが、結果は「一打差」で優勝決定のビックニュース、久しぶりに楽しいゴルフ日でした。

<皆様に感謝>

○準優勝の大村さん

今回は、ハンディキャップ算出が、新リアル方式から過去のスコアにより各自のハンディキャップに変更されたによって、ハンディを多く頂いたことと、良きパートナー（法安さん、鈴木さん、阿部さん）に恵まれ準優勝することができました。更に、相変わらずのミスが続出しましたが、結果オーライに救われました。次回は結果オーライではなく、日々精進を重ね優勝を目指したいと思います。

幹事目黒さん、山形さん、事務局の沖本さん、どうも有難うございました。

○3位の鈴木さん

午前中は、いつものとおりの多叩きで、とても入賞など予想していなかったのですが、正にハンディのおかげでした。有難うございました。

[レポーター 沖本良平さん]



法体の滝

鳥海山の山麓に位置し、秋には紅葉がすばらしい。場所は秋田県由利本庄市

撮影
平成19年8月



事務局からのお願い

総会の際、法安会長から要望のありました、「会長をはじめ、役員世代交代を図る時期にきているので、会のお世話ができる方は、振るって申し出て頂きたい。」との趣旨にご賛同できる方は、事務局までお申し出下さいませようお願いいたします。特に、若い方のご協力をお待ちしております。

《社友会だより発行遅延のお詫び》

今般は、8月を予定しておりましたが、編集担当の不手際により遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

今後ともご支援の程、よろしく願いいたします。

「社友会だより」にご意見・ご要望を是非、お寄せ下さい。

皆様方の近況等を募集しています。

趣味・ボランティア活動・田舎暮らし等、何でも結構です。

1000文字以内・写真もお送り下さい。